

ゆうりんだより

区画整理が始まり、中央有鄰学院を取り囲んでいた豊かな自然、シンボルでもあった竹林は、姿を消すこととなりました。

新たな時を迎えて

理事長 植田 望

早いもので、施設整備後4年目を迎えています。

中央有鄰学院で子ども達の処遇改善から複合施設の建設運営に携わった二村前統括施設長をはじめ、永年子どもたちの養育に頑張った複数の職員、退職、新たな施設長の就任等人事面で大きな動きがありました。

また、自立援助ホーム「きょうわ」の立ち上げによって赤ちゃんから20歳までの子ども達の受け皿が出来ました。

平成25年度は、改めて法人の理念・基本方針・組織運営等社会的養育の充実のための内容が問われる年になります。

法人の理念・基本方針の周知徹底

「7つの願いと7つの方針」「職員の7つの主要責務」が確立され明文化されています。職員の行動規範になっているとともに、利用者への理解を求める活動も必要になります。

社会的養護の責任を果たすために

「子どもの最善の利益のために」小舎・ユニットの住環境の中で子どもたちが安心して生活することができるとともに、職員の専門性がより問われることとなります。職員の資質向上のための研修が必要です。

第三者評価及び自己評価の実施

第三者評価を受けることが義務付けられ、ゆうりん・ほだかは、平成25年度に自己評価、平成26年に第三者評価を受審する予定です。

地域に開かれた施設

施設はともすれば、閉鎖的になりがちです。3年前の全面改築で、開放的な住環境が整備されました。ふれあいセンターおおだかは、地域の子育て支援センターの役割を担うとともに、ほだか・ゆうりん生活する子どもや職員が、地域の人々と交流する大切な働きを持っています。

ボランティアの方々との積極的な受け入れ及び地域全体で子育てをしていくためにも地域とのつながりを大切にしたいと考えます。

国・名古屋市への予算対策及び募金

措置費制度の堅持、名古屋市への補助制度の拡充等働きかけを行う。また、借入金返済、自立支援を含めた法人財源を確保するための募金活動をお願いする必要があります。本年も皆様様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

施設長就任のあいさつ



ゆうりん施設長
中上 純二

はじめまして。今年4月より社会福祉法人中央有鄰学院 児童養護施設ゆうりんの施設長を拝命しました中上純二です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

「ゆうりんの子になりなさい！」
4月のある日、家出をしてきた子どもが「ゆうりん」の玄関に佇んでいました。聞くと、授業参観で答えられず、母親に怒られたとのこと。そのときの母親の言葉です。
私は、この言葉が未だに脳裏にこびりついていきます。

子どもたちは、言うことを聞かないから「ゆうりん」にいるのではなく、まして悪いことをしたわけでもありません。ある子は親のやむを得ない事情で、ある子は虐待やネグレクトなどで、「ゆうりん」に連れてこられました。

そして施設もまた、大人社会がつくった仕組みです。子ども達は大人の事情で、「ゆうりん」に来ざるを得なかったのです。

このことを、私たちゆうりん職員、地域の方、ご家族、ボランティアの方々など「ゆうりん」に関わっていただく全ての皆様にご理解いた



だき、溢れんばかりの愛情と温かい眼差しで子どもたちを育て、社会に送り出してあげたい、そんな思いをより強くしています。
子どもたちの笑顔は、私たちに問いかけます。「ちゃんと育ててくれるよね？」

「子どもは人口の20%だが、未来の100%だ」(英国のブラウン元財務相)
中央有鄰学院を未永くよろしくお願ひ申し上げます。



ほだか副施設長
梅村 麻美子

初めまして。この4月から乳児院ほだかの副施設長を勤めております、梅村麻美子でございます。

着任から4カ月、初めての福祉の現場にとまどいながら、無我夢中で過ごしてまいりました。

この間、新人の副施設長を若い職員達はよくがんばって支えてくれました。

しかしやはり私により私に元気をくれるのは子ども達のがやく笑顔です。子ども達とこんなにも密に接することのできる仕事につけて「本当にシアワセ。」と思っております。

私は2年前まで14年間名古屋市の市議員をしていました。その間ライフワークとして子育て支援や児童虐待の問題に取り組んできましたが、現在ほだかでパートやボランティアをして下さっている方々の多くがその際知り合いになった皆様やそのご紹介です。

子どもを愛する人と人とのつながりの輪がどんどん広がって、名古屋市施設の向上やひいてはそこで暮らす子ども達の幸せにつながってほしいと強く願っています。

一方、足元を見てみるとやらなければならぬことは山積していま



子ども達が安心して帰れるよう保護者の皆様の家族再生のお手伝いや家族との縁の薄い子どもには暖かく迎えてくれる里親探し、そして安心して養育できるよう職員の職場環境の整備等々、皆で力を合わせて取り組んで参りたいと思います。
又、地域の皆様にかわいがって頂ける施設でありたいとも願っています。

ほだかが開設してまだ3年余。私同様まだまだ未熟な施設ですが、どうぞ皆様暖かく見守っていただきませうようお願い致します。



ゆりりん

山の家での3日間で、日常では味わえないたくさんの経験をした。ボクは、前のボクより強くなれたかな。たくましくなれたかな。ゆりりんに戻れば、また変わらぬ日常がまっている。でもボクは、前のボクとは何かちがうはず。きっと。

郡上八幡自然園 (山の家)



潮干狩りでは、落ちていた木材を使っていかだを作ってみました。



恒例のドクターズバンド七夕会では、幼児さんから中学生まで、みんなで踊って会場は大盛り上がり！



海の家 篠島

中高生海水浴



幼児海水浴 新舞子マリンパーク

今年の夏も、本当に色々なことがありました。潮干狩り、ドクターズバンド、海の家、山の家、スポーツ大会(野球、ソフトボール)、バーベキューやプロ野球の招待等等... 沢山の方の協力と支えがあり、子どもたちは、様々な経験をする事ができました。ありがとうございました。



いつの間にか歩けるようになった
 少しおしゃべりもできるようになった
 ぼくが次にできること
 なんだろうな

ほだか



はじめての手作りおやつ

ほだかでは、毎週土曜日にユニットごとで、おやつ作りをすることになりました。初めてのおやつ作りは、「果物のヨーグルトかけ」です。毎日おいしいご飯を作って行かれている厨房の職員さんが、目の前でおやつを作ってくれます。もちろん、子どもたちもお手伝いをしました。

目の前でまぜまぜしていると、食べたくなってしまうけれど、がまんがまん。盛りつけてもらうと、おいしくてすぐに食べ終わっちゃいました。

まだはっきりと理解はしてなくても、食育は始まっています。目の前でお料理を見たり、自分たちで作ったりと、楽しい!おいしい!ワクワクする!ような経験が、少しずつ積み重なっていくといいですね。



流しそうめん 流しトマト!?

テント張りも竹の準備も、暑い中ゆうりんのお兄さんお姉さんが準備をしてくれて、いよいよ流しそうめん開始!

ほだかの子どもたちはフォークを持ってそうめんをつかまえようと必死ですが、少しやってみてフォークでは上手につかまえられないと気づくと、今度は素手でつかまえ始めます。

流れてくるのはそうめんだけでなく、トマトやみかんも! そして、最後はスイカをガブリッ!!全身びしょ濡れでも、お腹いっぱいみんなとっても満足そうな笑顔を見せてくれましたよ。



美浜海水浴場



多くの方々にご支援をいただきながら、ふれあいセンターおおだかも、四年目に入りました。

地域の子どもと親、ほだかの子どもと職員が、ちびっ子の集いに集まり、子育て、子育てを共有しています。

この地域は、核家族が多いこともあり、今年度、ちびっ子の集いでは、世代間交流をすることを目標にしています。

子育ての悩みなど、インターネットや育児書で調べれば直ちに答えが返ってきますが、子育ての経験を積んだ方々の導きは、宝物となり、きっと深く心に響くことと思います。



おかげさまで1周年！
コミュニティカフェ “光”



地域の皆様に支えられて、昨年ふれあいセンターにコミュニティカフェを立ち上げてから1年が経ちました。



子どもたちの大好きな夏の到来。待ちに待ったプール遊びが始まりました。

乳児さんも、水に慣れてきて、水面をパチャパチャパチャそんな子どもの姿を見守るママの方が嬉しそう。

水に慣れた子どもたちは、大きいプールに入り「ワニおよぎできたよ!」「プールたのしい!」と、歓声が上がっています。

この夏は、水遊び、流しそうめん、影絵鑑賞会など、楽しい遊びが沢山ありました。

つぎのつぎない課題と向き合い続ける

自立援助ホームきょうわ

「自立援助ホームきょうわ」が開所してはやいもので1年が経とうとしています。昨年9月の開所時には2名であった子どもたちも4月から6名へと増え、定員いっぱいの人数で新年度をスタートすることになりました。「自立援助」という大きな課題を持つこのホームで、新しい子ども達と初心者マークの職員3名が山あり谷ありの生活を共にしています。



「なぜ自分だけ…」同級生に嫉妬も

十五歳から二十歳までの年代の子ども達。社会人としては、まだまだ幼い年齢にも関わらず、自分の置かれた状況を自分なりに精一杯理解し、小さな身体で一生懸命生活しています。それに加え自立に向けての貯金もしなければなりません。本来なら家族の世話になっている年齢ではあります。がここでは洗濯や部屋の掃除も自分でこなさなければなりません。学校に行くのが嫌な日があるように仕事に行きたくない日だってあります。楽しんでそうに高校生活を送る同級生に嫉妬することもあります。そして「何故自分だけがこんな目に合わなければならぬんだ！」と親に対するやり場のない怒りを抑えきれないこともあります。小さな身体で毎日「自立」という課題に向って、わがままや弱音も我慢し頑張っています。そんな子ども達をどう支えていくか、きょうわの職員が毎日格闘する課題です。

家庭に代わる安心感を…

「国民健康保険って何？」「厚生年金って何？」分からないことだらけ。1歩進んだと思えば2歩も3歩も下がる、なかなか思うようにいかない。やり場のない思いを職員にぶつける子どもたちとどうしたら理解し合えるか、どうしたら家庭というあたかさや居心地の良さを取り戻してあげられるか、どうしたら退所後も切れない信頼関係を築いていけるのか、この子ども達が親になつた時に子どもに注いであげられる優しさやあたたかい感情をどう芽生えさせていくか、職員の課題は尽きる事はありません。

本当の自立は不安との戦い

そんななか、7月にはSさんがきょうわで2人目の自立を迎え退所しました。二十歳を迎え『退

所』という不安な2文字に心が折れ部屋にひきこもり、職員との関係がなかなかうまく取れない日々が続いていました。子どもは強いですね。職員の心配はよそに自分の力でアパートを探していました。新居ではとても楽しくのびのびと生活し、仕事も自分で見つけ、人生の新たな一歩を踏み出すことができました。

そしてまた、新しい子どもが自立を目指し不安を抱え入所してくると思いますが、「きょうわってすごく良いところだった。」とあとから感じてもらえるような関わり方をこれからも模索しながら職員一丸となって頑張ります。



退任のご挨拶

前統括施設長 二村 繁美



虫の音の聴こえる候となりました。

皆様には大変ご挨拶が遅れましたが3月末にて統括施設長を退任いたしました。

在任中には社会的養護の子どもたちの養育の場が抱える課題、固有の困難な課題を解決するにあたり心からのご支援を賜りましたこと篤くお礼申し上げます。

抱えていた重い課題は次の5点でした。

- ①経営、運営の正常、安定化
- ②子どもがあたりまえに生活できる環境づくり
- ③子どもの

成長を支援できる考え方の整理、方法の導入、専門職の導入④職員増、職員の労働条件の改善⑤地域の皆様に利用いただく場づくり。

おかげさまで、これらが行政と関係者の理解もいただき解決の目途が立ちました。

具体は乳児院ほか、自立援助ホームきょうわの新設により赤ちゃんから自立までの支援が可能となりました。児童養護ゆうりんの改築、小舎への移行、定数減により多くの問題の解決。ちびっこの集いの再生ができました。以上をもち私の30年の任務を終わらせていただくことあわせてご報告させていただきます。

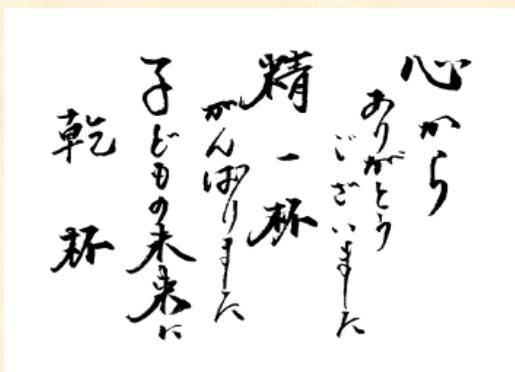
結果、子どもたちは、以前に比べ明るくなり感情、言葉の豊かさが生まれているように思われます。これからの楽しみにします。

私事で恐縮ですが、病弱な父母を40年介護、昨年9月に母の終末を在宅介護で看取りました。(父は20年前他界)、母を亡くしてみて、今更ながら母親の存在の永遠さ、大きさを思い知り、ゆう

りん、ほだかの子どももの精神的な苦勞を再認識しました。母性からの分離、喪失、攻撃を受けた子どもたちが、健やかに育つためには、今以上に社会の理解と支援が必要です。

30年前に中央有鄰学院に一步、足を踏み入れた衝撃、子どもがあのように生きざるを得ない状況に啞然とした。その実態の延長線上に未だあることも否定できません。

私の力不足、未熟さからご迷惑をかけたことをお詫びし、また大きな課題を残しました。職員の養成でありました。これは新施設長に引き継いでいただくことをお願いしていきます。



退任にあたり卒院生よりメッセージが届きました！！

ありがとうございます
退任のお手紙お読みしました。本当にありがとうございました。
二村先生と松山先生の存在は僕の人生ごとでも大きな力をくれました。
本当にありがとうございます。

昭和59年卒院 中学校卒業生 鉄工所経営

ごころうさん
ダメなやつはめんどうみているから安心しろ！

平成13年度 高校中退者 建築労働

こちらこそ、昨日はお会いできてありがたうございました。実は、私も会いたくなって思っていたけど、気が付かずと一人で行く勇気が無くて、月日がたってしまいました。

実際にあってみると、何年かぶりとも思わぬくらい自然な感じでした。直接は、吉之谷にいけど、私は、有鄰で高ったこと、ほんとは色々あって思っています。特に、先生に虫会之たことが、私には大きかったです。看護師はなれたのは、先生のおかげです。施設で高っても、資格を取って胸を張って働ける事を教えてもらいました。看護師の仕事、すごく好きです。ありがたう。子どもたちもすくすく高っています。

先生も松山先生も仕事以上の、私達に高わってくれた事、みんな分かっていっていると思っています。だからこそ、私達も必死に先生に高つていきました。

千人ほどの卒院生を一人前に高てあげ、社会に送り出した事、すごい事ですよ。それが先生たち、有鄰を高張ってきた証拠です。誇りに思っています。先生が私により多く、気をつけてくれた事、ずっと知っています。たくさん、皆さんの愛情をもらいました。本当にありがたう。

東通はこんな事を伝えられるようになったのも、30歳になったからですね。

先生はキツイ事を言っていました。痛つけてしまった事もありません。ごうんごうん。

これからも、時々会いたいです。夫婦をあらわして建てた新居を建てたい。

平成8年度卒院 はじめての高校卒業生

平成24年度決算会計報告

勘定科目		法人本部	児童養護施設 ゆうりん	乳児院 ほだか	自立援助ホーム きょうわ	合計
事業活動収支の部	収入					
	利用料収入	75,488	4,000	4,400	513,332	597,220
	措置費収入	0	176,837,985	130,083,646	10,711,695	317,633,326
	運営費収入	0	2,959,200	3,180,852	0	6,140,052
	経常経費補助金収入	0	3,052,000	2,653,300	200,000	5,905,300
	寄附金収入	0	789,500	218,500	0	1,008,000
	雑収入	243,500	4,889,202	2,719,194	168,240	8,020,136
	借入金償還補助金収入	0	7,721,460	2,224,716	0	9,946,176
	引当金戻入収入	0	860,250	339,450	0	1,199,700
	国庫補助金特別積立金取崩額	0	5,241,354	958,758	0	6,200,112
事業活動収入計	318,988	202,354,951	142,382,816	11,593,267	356,650,022	
支出	人件費支出	438,750	123,098,174	101,500,055	6,366,757	231,403,736
	事務費支出	401,120	11,243,501	8,583,263	7,824,616	28,052,500
	事業費支出	79,818	34,651,248	8,233,989	765,753	43,730,808
	減価償却費	5,024	10,698,583	3,903,756	4,522	14,611,885
	事業活動支出計	924,712	179,691,506	122,221,063	14,961,648	317,798,929
事業活動外収支の部	収入					
	借入利息補助収入	0	0	0	0	0
	受取利息配当金収入	9,048	8,138	12,221	193	29,600
	会計単位間繰入収入	0	0	0	0	0
	経理区分間繰入収入	20,552	0	0	5,500,000	5,520,552
	事業活動外収入計	29,600	8,138	12,221	5,500,193	5,550,152
	支出					
	借入金利息支出	313,267	1,476,340	648,993	0	2,438,600
	経理区分間繰入金支出	5,500,000	8,138	12,221	193	5,520,552
	事業活動外支出計	5,813,267	1,484,478	661,214	193	7,959,152
経常収支差額	▲ 6,389,391	21,187,105	19,512,760	2,131,619	36,442,093	
特別収支の部	収入					
	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0
	施設整備等寄付金収入	2,367,780	0	0	0	2,367,780
	固定資産売却益	0	0	0	0	0
	特別収入計	2,367,780	0	0	0	2,367,780
支出	基本金繰入額	0	0	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	0	0
特別支出計	0	0	0	0	0	
繰越活動収支差額	前期繰越活動収支差額	8,726,967	▲ 19,772,239	69,291,051	0	58,245,779
	当期繰越活動収支差額	4,705,356	1,414,866	88,803,811	2,131,619	97,055,652
	その他の積立金取崩額(+)	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額(-)	0	10,000,000	0	0	10,000,000
次期繰越活動収支差額	4,705,356	▲ 8,585,134	88,803,811	2,131,619	87,055,652	

平成24年度 貸借対照表

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	128,521,099
基本財産	576,184,355
その他の固定資産	105,931,872
資産の部合計	810,637,326
負債の部	
流動負債	26,581,993
固定負債	194,878,980
負債の部合計	221,460,973
純資産の部	
基本金	197,936,315
国庫補助金等特別積立金	240,591,729
措置施設繰越積立金	40,000,000
施設整備積立金	23,592,657
次期繰越活動差額	87,055,652
純資産の部合計	589,176,353



事業報告

施設整備後三年目の年となり、中央有鄰学院は、様々な課題を抱えることとなりました。

新設のほだかは、年間を通して、初めて入所率を満たすことができ、ゆうりんでは、子どもたちが新しい生活に慣れてきたことと、職員の献身的な関わり、積み重ねもあり、生活・運営共に比較的安定したものでなりました。

ふれあいセンターおだかは、ちびっこの集いが地域の方々に幅広く認知されるようになり、コミュニティカフェなど新しい取組みも始まったことで、さらに数多くの地域の方に利用していただける施設となりました。

9月には、大府市共和町に、6名定員の自立援助ホームを立ち上げ、自立に向けた子どもたちの支援を開始しました。また、それに伴い所管が名古屋から愛知県に移ることとなりました。

法人の運営や子どもたちの処遇にかかわる苦情が何件か寄せられました。苦情処理委員で対応するなど適正に処理し、理解を求めました。

事務局通信

福祉サービスの事業者は、利用者からの苦情の適切な解決に努めることになっています。中央有鄰学院では、左記の通り苦情解決責任者と受付担当者を設けております。

〈ゆうりん〉 TEL 052(621)2441

苦情解決責任者 中上 受付担当者 小尾

〈ほだか〉 TEL 052(693)5668

苦情解決責任者 梅村 受付担当者 川瀬

〈きょうわ〉 TEL 0562(62)1880

苦情解決責任者 植田 受付担当者 藤崎

〈第三者委員〉

福祉サービス苦情相談センター

TEL 052(910)7976

FAX 052(910)7977

☆★催し物のご案内★★

ふれあいフェスティバル2013

平成25年11月16日(土)10時30分～14時

テーマ ～いつもありがとう～

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関でお越しください。

編集後記

竹林をはじめ、豊かな自然に囲まれていた中央有鄰学院ですが、区画整理が始まり、周囲の環境が様変わりしました。また、新施設長の就任等もあり、中央有鄰学院は、人も環境も大きく変わりつつありますが、今後とも子どもたちへの支援のほどよろしく願い致します。

ゆうりんだよりの発行が遅れましたことお詫び申し上げます。